

# 東京放射線

2011年4月

Vol.58 No.683



社団法人 東京都放射線技師会

<http://www.tart.or.jp/>

## 総会資料

第61回定期総会第一号議案 事業報告（案）

平成23年・24年役員選挙と新役員

## 会告

市民公開講座

日暮里塾ワンコインセミナーのお知らせ

## 巻頭言

学び、楽しもう

篠原健一

第61回社団法人東京都放射線技師会定期総会

謹んで地震災害のお見舞いを申しあげます。

このたびの東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申しあげます。

一日も早い復旧を心からお祈り申しあげます。

平成二三年三月十三日

社団法人 東京都放射線技師会

# 平成23年度 スローガン

一、チーム医療の推進  
二、地球環境と調和した画像診断技術の向上  
三、生涯教育・専門教育の推進

2011年  
APRIL

## CONTENTS

### 目次

震災のお見舞い申し上げます

はがき 第61回定期総会議事の表決について

巻頭言 学び、楽しもう……………会長 篠原健一 4

診療放射線技師のための接遇規範…………… 5

会告1 第61回社団法人東京都放射線技師会定期総会開催の件…………… 6

会告2 市民公開講座…………… 7

会告3 日暮里塾ワンコインセミナーのお知らせ……………学術部 8

平成23年・24年役員選挙と新役員…………… 10

東京都放射線技師会ホームページのリニューアル……………ホームページ委員会 11

第61回定期総会資料…………… 12

第1号議案 事業報告（案） 事業報告

こえ

・第9回ウインターセミナーに参加して……………中村匡宏 21

ウインターセミナーアンケート

・第4地区研修会に参加して……………三上 徹 24

・第12地区研修会に参加して……………古澤正樹・門野太一・他 25

NEWSひろい読み…………… 26

パイプライン

・看護フェスタ…………… 28

第10回理事会報告…………… 29

平成23年2月期会員動向…………… 30

新入会の勧め・入会申込書…………… 32

# 巻頭言



## 学び、楽しもう

会長 篠原健一

このたび、平成23・24年度社団法人東京都放射線技師会会長に就任いたしました篠原健一と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

江戸後期、昌平坂学問所（江戸幕府直轄の教学機関・施設）の教授として主として朱子学を教え、門下生には渡辺華山、佐久間象山など錚々たる顔ぶれがいる佐藤一斎の『言志晩録』に

少ニシテ学ベバ、則チ壮ニシテ為スアリ

壮ニシテ学ベバ、則チ老イテ衰ヘズ

老イテ学ベバ、則チ死ニテ朽チズ

とあります。生涯学習の意義を教えています。

昨年（2010年）4月に厚生労働省医政局通達で、「診療放射線技師が現行制度の下で実施することができる」とし、

画像診断における読影の補助を行うこと

放射線検査等に関する説明・相談を行うこと

について「診療放射線技師を積極的に活用することが望まれる」とあり、チーム医療の重要な一員として位置づけられています。このことは、更なる卒後教育・生涯学習の必要性が求められていることにほかなりません。

本会はこのことも踏まえ、

新事務所（研修センター）有効活用を含む生涯教育事業

公益社団法人移行に伴う公益事業の整備及び職能団体としての社会的責任（価値）の追求

チーム医療の推進、技師法改正、職能の在り方等について（厚労省窓口としての）日本放射線技師会に対する提言

入会促進及び加入継続活動

地球環境保全活動 他

を継続性を持って推進してまいります。

中澤前会長は常々「技師会活動を楽しもう！」とおっしゃっていました。『論語』に「これを知る者はこれを好む者にしかず、これを好む者はこれを楽しむ者にしかず」とありますが、技師会活動を楽しめる会員・役員、そのような組織にしたいと思っています。

平成20年の第55回総会で「公益社団法人への移行」が決議され準備を続けてきましたが、昨年度末「移行申請書」を監督官庁に提出し審査・指導を受けています。今後より一層の公益性、公開性、社会的責任に基づいた事業活動が求められますので、会員の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

# 診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、性・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

社団法人 東京都放射線技師会



# 第61回 (社)東京都放射線技師会定期総会 開催の件

本会定款第21条に基づき下記の通り、第61回社団法人東京都放射線技師会定期総会を開催いたします。

## 記

開催日	平成23年5月28日（土）
受付	午後1時30分～
総会	午後3時15分～
会場	笹川記念会館 〒108-0073 東京都港区三田3-12-12 tel. 03-3454-5062（代）
交通	JR田町駅（三田口）より徒歩8分 都営地下鉄三田線 三田駅より徒歩6分 都営地下鉄浅草線 泉岳寺駅より徒歩3分
議事	第1号議案 平成22年度事業報告（案） 第2号議案 平成22年度決算報告（案） 第3号議案 平成22年度監査報告（案）

（社）東京都放射線技師会  
会長 篠原 健一

## お願い

1. 「東京放射線」4月号に「第61回定期総会議事の表決について」及び「委任状」を掲載いたしました。総会に出席できない方は、必要事項を記入の上、必ずご投函お願いします。
2. 定期総会議事について書面表決された方は、「委任状」への記入は不要です。
3. ご出席の際は、必ず総会資料である会誌「東京放射線」4月号、ならびに5月号を持参してください。
4. 本会告をもって案内状と致します。多数の会員の出席をお願いいたします。



## 市民公開講座

# 「スローフードと地球環境(仮題)」

平成23年4月1日

社団法人 東京都放射線技師会

会長 篠原健一

日 時：平成23年5月28日（土）午後2時00分～午後3時00分

受付 午後1時30分～

会 場：笹川記念会館

〒108-0073 東京都港区三田 3-12-12 TEL.03-3454-5062（代）

講 師：未 定

参加費：無 料

市民公開講座終了後、引き続き定期総会を開催します。

交 通：JR田町駅（三田口）より徒歩8分

都営地下鉄三田線三田駅より徒歩6分

都営地下鉄浅草線泉岳寺駅より徒歩3分

### 案内図





# 日暮里塾ワンコインセミナーのお知らせ

第1回  
第2回

## 「新卒入会セミナー」

このたび新しい事業として「日暮里塾ワンコインセミナー」を開催いたします。

第1回および第2回は同じ内容で新卒者対象セミナーとしまして技師会を広く知って頂きたいという趣旨の下開催いたします。また未加入の方の参加も受け付けております。

新卒者・非会員の皆様に多数参加いただくために参加費無料で開催いたします。

### 記

日 時：第1回 平成23年4月26日（火）19時00分～

第2回 平成23年5月19日（木）19時00分～

どちらも同じ内容で行います。申し込み時にどちらかに✓をお願いします。

場 所：技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

参 加 費：無料

申込方法：次ページのFAX用紙にてお願いします。

内 容：テーマ 「新卒入会セミナー」

#### 1. 技師会概要

##### 技師会活動

- ・アウトライン 野口幸作 庶務理事
- ・各部活動状況 市川重司 学術理事

#### 2. ミニ講演「技師会費って本当に高い？」 大室正巳 渉外理事

申し込みは次ページの専用FAX用紙を使用してください。

定員に達したときのみお断りのご連絡をします。連絡が無い場合は参加受理となります。

当日参加も可能ですが事前に電話等の連絡をお願いします。

問い合わせ：(社)東京都放射線技師会 学術・教育理事 市川重司

事務所 03-3806-7724

職場（公立福生病院） 042-551-1111（1500）

Address gakujitu@tart.or.jp

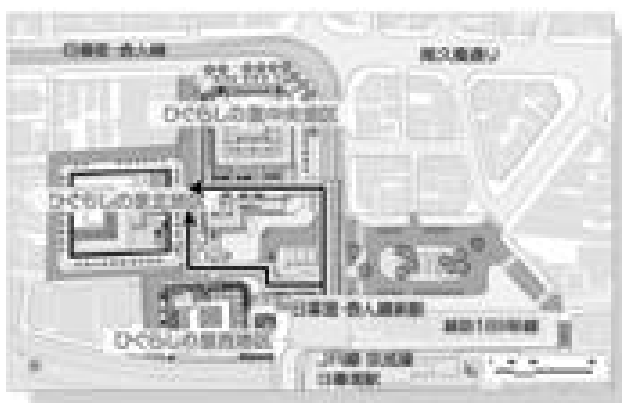


第1回  
第2回 日暮里塾ワンコインセミナー参加申込用紙

申込FAX 03-3806-7724 (東京都放射線技師会)

どちらかに ✓を	第1回日暮里塾ワンコインセミナー参加 第2回日暮里塾ワンコインセミナー参加
ふりがな	
氏 名	
施 設 名	
住 所	〒
連 絡 先	TEL Adress
備 考	(開催の可否は必ず確認してください。 東放技事務所 03-3806-7724)

案内図 JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分



## 篠原健一新会長就任

平成23年3月5日（土）（社）東京都放射線技師会第60回定期総会に引き続き平成23年・24年度役員選挙が行われ、篠原総務理事が新会長に選ばれた。

城北支部選出 高橋克行選挙管理委員長の進行のもと平成23年・24年度役員選挙が行われた。

役員選挙規程第2条・3条の資格を有する役員候補者、会長候補 篠原健一、副会長候補 葛西一隆、同小田正記、監事候補（立候補）中澤靖夫、監事候補（理事会推薦）佐藤清榮。および理事候補17名。なお、佐藤清榮氏は監督官庁の指導による外部監事で直近の理事会にて推薦・承認されている。

会長、副会長、監事は定数、理事は定数の範囲内であり、役員選挙規程第13条・14条に基づき、会長候補者のみ出席会員による挙手により信任投票を行い、会長以外の役員候補は無投票当選となった。信任投票の結果は信任149票、不信任0票であった。

### 新年度役員を代表して会長より就任挨拶

みなさまに信任いただきまして感謝申し上げます。また、改めて気が引きしめる思いであります。中澤会長の6期12年の間に渉外を2期4年、総務を3期6年務めさせていただきました。その間（社）東京都放射線技師会（東放技）の会務はもちろんですが、（社）日本放射線技師会（日放技）への対応が非常に大きなウエイトを占めていました。中澤会長は全任期期間を通じて日放技の改革活動に注力しなければなりません。会務だけではなくて日放技対策も大変でした。しかし、ご存じのとおり中澤会長は昨年度日放技の会長に就任され、私は就任当初から日放技と良好な関係を築けるという非常にラッキーなスタートといえると思います。

先程、中澤会長のお話にもありましたが、昨年度の本部開催の総合学術大会だけではなく、その前年にも本会主催の関東甲信越学術大会がございました。その他にも新事務所への移転、創立60周年

記念事業など大きなビジョンを持って指導力を示されました。その実働部隊としての役員・会員の皆様の存在が、今回立候補することへの大変な勇気になりました。改めてみなさまに今後のご協力をお願いし活動していきたいと思っています。

中澤会長は今後、日放技会長また本会の監査幹事としてより大所高所からご指導いただきたいと思います。私も地方技師会の代表としまして全国組織の日放技を支えていきたいと思っています。ただ、日放技の下請けにならないように、その辺は充分気を付けながら中澤会長が毎週厚生労働省に足を運びたいような発信を、首都東京からしていきたいと思っています。

最後になりましたが、6期12年の中澤会長、2期4年私たちを厳しく、またあたたかくご指導いただいた益戸監事に皆様より盛大な拍手をいただきまして私の就任のごあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。

### 平成23年・24年度役員

会 長 篠原健一

副会長 葛西一隆、小田正記

監 事 中澤靖夫、佐藤清榮

理 事 浅沼雅康、飯島利幸、石上信雄、石田秀樹、市川重司、江田哲男、大地直之、大室正巳、小野口敦、篠田 浩、眞田鮎子、関 真一、高坂知靖、高橋潤一郎、千葉利昭、野口幸作、森 俊

東京都放射線技師会ホームページを4月1日にリニューアルしました。  
それに伴い、アドレスが変更となりました。  
新しいホームページのアドレスは <http://www.tart.jp/> です。

より見やすいようデザインを一新し、アクセスしやすくなりました。  
新ホームページの一部をご紹介します。

### トップページ



研修会やイベントの案内や、お知らせなど最新の情報は随時、トップページの“新着情報”に掲載されます。

“新着情報”のタイトルをクリックすると、詳細な説明の載ったページにリンクします。



東京都放射線技師会主催の研修会は、従来通りホームページからも参加申し込みが可能です。



今後は、会員の皆さんにも役立つコンテンツを作成してゆく予定です。  
これからも、東京都放射線技師会ホームページを是非ご利用ください。もしご不明な点やご意見がありましたら、東京都放射線技師会事務局までお問い合わせ下さい。

TEL/FAX (03) 3806-7724

mail [hp@tart.jp](mailto:hp@tart.jp)

ホームページ委員会

平成22年度

# 事業報告(案)

## 第1号議案

### 1. 総括

鳩山民主党政権が6月に退陣し、菅内閣が発足したが尖閣諸島問題で一気に支持率が低下し、菅第二次改造内閣でも支持率は低迷状態である。民主党政権の目玉の一つである旧政権時代の後期高齢者医療制度に代わる新しい医療制度の提案が未だ出てこない状況である。私達は政権政党がどの政党になろうと、国民の視点に立って今まで以上に国民皆保険の維持を訴えていかなければならない。

平成22年度はスローガンとして1)メディカルコンプライアンス(Medical Compliance)の推進、2)地球環境保全活動の推進、3)認定技師・専門技師の育成を掲げて活動を展開してきた。

メディカルコンプライアンスの重要性が叫ばれ、昨年はISO26000「社会的責任」が発行された。しかしながら医療界では相変わらず診療報酬の水増し請求、カルテの改ざん、医療過誤、医学研究における倫理違反、セクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメント等が報道されている。私達は国民から信頼される医療人を育成する為に、学術誌「東京放射線」を通じて隔月で「診療放射線技師業務標準化宣言」「診療放射線技師のための待遇規範」を掲載し、診療放射線技師がメディカルコンプライアンスとして行わなければならない業務守備範囲を明確にし、各職場で取り組んで頂いている。

環境省は「The Earth is Sick: いま、地球は病気です」と宣言している。地球環境保全活動は医療における予防保全活動に繋がっている。食物連鎖における病気の発生を予防するためにも電離層の薄層化による皮膚癌の増加を防ぐためにもフロンガス・CO<sub>2</sub>を削減しなくてはならない。荒川河川敷の清掃活動、日暮里駅前清掃活動、各職場における省エネ活動を通じて地球環境保全活動の推進を行っている。

いま国民は医療に対して、安心・安全な医療技術の提供を求めている。私達は常に最先端の医療技術を学ぶと共に、各種学会等で標準化されたEBMに基づいた医療技術を提供する必要がある。私達は診療放射線学の発展に寄与すると共に各種認定技師・専門技師の育成を関連団体と連携しながら推進している。本会独自の活動としては医療機器安全管理責任者養成講習会の開催、MR専門技術者養成のためのMRI集中講習会を開催した。

また、平成22年度は日放技との連携強化の年でもあった。日放技主催第26回放射線技師総合学術大会・第15回東アジア学術交流大会を本会が実行委員長を引き受け、埼玉県放射線技師会・千葉県放射線技師会・茨城県放射線技師会・神奈川県放射線技師会と連携しながら実行委員会を結成し活動を開始したのが大会開催3カ月前の4月であった。ほとんどの企画が決まっていなかった状況の中で各県代表の智慧をお借りしながら何とか大会を開催することができた。47都道府県放射線技師会の皆様方のご協力により約2,000名の方が参加し、多くの学びの成果を得ることができた。

第55回総会で、公益法人制度改革に伴う公益社団法人への移行意思の決議案を賛成多数で承認して頂いた。これに伴い定款・諸規定検討委員会を立ち上げ2年に渡り準備をし、第58回総会で新しい定款・諸規定を承認していただき、現在は東京都庁生活文化局 都民生活部 管理法人課 公益法人係と折衝中である。本会創立60周年・法人化30周年記念事業を多くの会員の参加のもと、成功裏に終了することができた。また、記念誌編集委員会の皆様方のご協力により記念誌「60年のあゆみ」を出版することができた。

今まで以上に都民のために会員のために本会の事業を推進する所存である。会員の皆様方のより一層のご支援とご協力をお願いする次第である。

# 事業報告

## 1. 診療放射線技術の向上に関する調査・研究および指導に関する事業

### 1) 第9回ペイシエントケア学術大会

開催日時：平成23年3月5日（土）9時30分～14時30分

開催場所：東医健保会館2F大ホール

テーマ：「高齢者への対応」- 安全な看護、検査、投薬 -

主催：（社）東京都放射線技師会

後援：東京都・新宿区

教育部からの報告

座長（社）東京都放射線技師会学術理事 土橋俊男

日暮里塾ワンコインセミナー発足のご紹介

（社）東京都放射線技師会教育理事 市川重司

シンポジウム「高齢者への対応」- 安全な看護、検査、投薬 -

コーディネーター（社）東京都放射線技師会学術幹事 中井信彰 熊谷郁子

看護師の取り組み「生活を支える看護」

医療法人社団慶成会 青梅慶友病院 桑田美代子

薬剤師の取り組み「高齢者に対するファーマシューティカルケア」

日本医科大学付属病院 富山弘野

診療放射線技師の取り組み「理想の高齢者撮影業務について」

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター 木村 聡

ランチョンセミナー

座長（社）東京都放射線技師会学術理事 土橋俊男

「高齢者への検査に配慮したX線装置について」

株式会社 日立メディコ 小田和幸

「造影剤腎症について」

テルモ株式会社 ホスピタルカンパニー 造影剤チーム 楢木弘行

特別講演

「平成24年・26年度診療報酬改定に向けての論点」

（社）日本画像医療システム工業会（JIRA）経済部会 部会長 野口雄司

【司会】（社）東京都放射線技師会会長 中澤靖夫

参加人数：

### 2) 創立60周年記念講演

開催日時：平成22年5月22日（土）16時00分～17時00分

開催場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）千代田区九段北

特別講演：「黒岩が考える医療社会変革のデザイン」

元フジテレビキャスター 黒岩祐治

参加人数：

### 3) 第3回医療機器安全管理責任者養成講習会

開催日時：平成22年7月27日（日）9時00分～17時00分

開催場所：（社）東京都放射線技師会研修センター

主催：（社）東京都放射線技師会

協賛：（一般社）東京都病院協会 東京都臨床工学士会 （社）日本画像医療システム工業会（JIRA）

（社）東京都放射線技師会 （社）福島県放射線技師会 （社）長野県放射線技師会

（社）群馬県放射線技師会 （社）埼玉県放射線技師会 （社）千葉県放射線技師会

（社）岐阜県放射線技師会 （社）愛知県放射線技師会

講師演題：

関係法規

日本画像医療機器システム工業会経済部会部会長 野口雄司

一般医療機器の安全管理

東京大学医学部附属病院企画経営部 新 秀直

医療機器安全管理責任者の実務

昭和大学病院統括放射線技術部長 中澤靖夫

指定5項目医療機器（放射線以外）の安全管理

東京女子医科大学病院臨床工学部 酒井基広

指定2項目を含む放射線関連機器の安全管理

昭和大学藤が丘病院中央放射線部技師長 加藤京一

参加人数：37名（東京16、埼玉7、千葉6、群馬2、愛知3、非会員2、不明1）

#### 4) 第40回きめこまかな生涯教育

開催日時：平成22年6月9日（水）～11日（金）19時～20時30分

開催場所：（社）東京都放射線技師会事務所

テーマ：「非造影MRAを極める」

講師：藤田 功 さいたま市立病院 高橋順士 虎の門病院・分院

参加人数：会員13名

#### 5) 第41回きめこまかな生涯教育

開催日時：平成22年11月10日（水）～12日（金）19時～20時30分

開催場所：（社）東京都放射線技師会研修センター

テーマ：「被ばく」

講師：笹沼和智 日本医科大学多摩永山病院

参加人数：会員15名、学生1名

#### 6) 第42回きめこまかな生涯教育

開催日時：平成23年2月15日（火）～17日（木）19時～20時30分

開催場所：（社）東京都放射線技師会研修センター

テーマ：「医療情報」

講師：新田 勝 昭和大学横浜市北部病院

参加人数：会員11名

#### 7) 第9回サマーセミナー

開催日時：平成22年8月28日（土）15時00分～18時30分

開催場所：駒沢大学深沢キャンパス深沢校舎1階・120周年アカデミーホール

テーマ：「Gd-EOB-DTPA造影MRIの撮像技術を極める」

演題講師：「EOBプリモビストの概要」 バイエル薬品（株） 診断薬事業部関東学術情報 島村智幸  
「当院におけるGd-EOB-DTPA造影MRI検査の創意工夫」

東京慈恵会医科大学附属病院 北川 久

「EOB検査における肝細胞相の適正化」～肝臓/脾臓コントラスト比（LSC）を利用する～

公立昭和病院 鈴木 晋

「Gd-EOB-DTPA造影MRIの撮像法の動向と当院での現状」

日本大学医学部附属板橋病院 松田雅之

「当院におけるEOB撮像法の紹介」

東邦大学医療センター大橋病院 服部尚史

「Gd-EOB-DTPAの当院における撮像方法の紹介」～東芝ユーザー～

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 辻 良憲

参加人数：78名（会員64名、新入4名、非会員10名）

#### 8) 第9回ウインターセミナー

開催日時：平成23年1月29日（土）15時00分～18時15分

開催場所：（社）東京都放射線技師会研修センター

テーマ：「骨一般撮影のコツ」

演題講師：一般撮影におけるデジタル化 ～FCR・FPDシステムの画像処理技術～

富士フイルムメディカル株式会社東京地区営業本部営業支援グループ

石井伸英

頭頸部・脊椎領域の撮影技術

公立福生病院 市川重司

四肢領域の撮影技術

春日部市立病院 工藤年男

参加人数：71名（会員69名、非会員2名）

9) 第10回 (社) 東京都放射線技師会・(社) 日本放射線技術学会東京部会合同学術講演会

開催日時：平成22年9月9日(木) 19時00分～20時30分

開催場所：日立メディコ本社 会議室(秋葉原)

テーマ：「乳房MRIの実際」

講師：五味直哉 癌研究会有明病院 画像診断部医長

参加人数：82名

10) 第12回メディカルマネジメント

開催日時：平成22年11月18日(木) 19時～20時30分

開催場所：(社) 東京都放射線技師会研修センター

テーマ：「平成24年度診療報酬改定に向けての基本戦略」

講師：野口雄司 富士フイルムメディカル株式会社

参加人数：28名

11) 第3回MRI集中講習会

開催日時：平成22年10月3日(日) 9時00分～18時00分

開催場所：(社) 東京都放射線技師会研修センター

後援：東京MR励起会

プログラム：スライス厚測定(計算実習を含む)

昭和大学藤が丘病院 高橋俊行

T1,T2測定法(計算実習を含む)

野々下浩治

均一性試験方法、歪み試験方法(計算実習を含む)

杏林大学病院 宮崎 功

SNRの測定方法、CNRの測定方法(計算実習を含む)

東京大学病院 渡辺靖志

安全管理

日本医科大学病院 土橋俊男

第5回MR専門技術者養成試験問題の解説

日本医科大学病院 小川匡史

参加人数：18名

12) 第25回結核予防会マンモグラフィ講習会

開催日時：平成23年1月21日(金)～23日(日) 2泊3日

開催場所：(公財) 結核予防会結核研究所

主催：社団法人東京都放射線技師会・公益財団法人結核予防会

共催：特定非営利活動法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会教育・研修委員会

プログラム：講義 乳がんの臨床・病理・読影法・マンモグラフィの基礎

実習 読影・撮影法・臨床画像評価・画像管理・機器管理

個人評価試験 読影試験・筆記試験

参加人数：50名(東放技応募者4名、結核予防会応募者46名)

試験結果：A判定15名、B-判定11名、B-9名、C判定12名、D判定3名 A・B判定取得率70%

13) 第3回線量計確認校正

日時：平成22年10月3日(日)

会場：駒澤大学医療健康科学部

内容：線量計確認校正について(塚田：講義・測定) JIS Z4511に基づく電離箱サーベイメーター確認校正トライアル 測定器：電離箱式サーベイメータ(5台)

指導：駒澤大学 佐藤昌憲教授 大棒技師長(災害医療センター)

参加者：放射線管理士3名、診療放射線技師7名(国立病院5施設) 駒澤大学学生5名

14) 支部研修会

(1) 城北支部研修会

開催日時：平成22年9月17日(金) 19時00分～20時00分

開催場所：(社) 東京都放射線技師会研修センター

演題：「JICAで活躍する診療放射線技師」

講師：伊達卓二 保健医療経営大学

参加人数：診療放射線技師38名、他職種1名

(2) 城東支部研修会

開催日時：平成22年10月22日（金）19時00分～

開催場所：（社）東京都放射線技師会研修センター

演 題：「うつ病・抑うつ状態への理解と対応」

講 師：太田大介 聖路加国際病院心療内科副医長

参加人数：診療放射線技師28名

(3) 城南支部研修会

開催日時：平成22年11月12日（金）19時00分～20時30分

開催場所：東京慈恵会医科大学西講堂

演 題：「救急医療における画像情報の重要性 - 救急撮影認定技師の役割」

講 師：坂下恵治 日本救急撮影技師認定機構代表理事 大阪府立泉州救急救命センター

参加人数：98名（会員75名、非会員23名）

(4) 城西支部研修会

開催日時：平成22年11月24日（水）18時30分～20時00分

開催場所：東京医科大学病院教育棟5F

演 題：「災害時、あなたは何かができますか」

講 師：中曽根憲治 東京医科大学病院放射線部

参加人数：診療放射線技師22名、他職種1名

(5) 多摩支部研修会

開催日時：平成23年2月8日（水）19時00分～20時30分

開催場所：国分寺労政会館3階第3会議室

演 題：「注腸X線検査におけるニフレック・ガスモチン併用前処置法の初期経験」  
～前処置及び低緊張度に関するブラウン変法との比較検討～

講 師：中村明恒 野村病院放射線科

参加人数：診療放射線技師16名、他職種4名

15) 地区研修会

(1) 第12地区研修会

開催日時：平成22年6月26日（土）15時30分～16時30分

開催場所：複十字病院本館2階講堂

演 題：「基準撮影について」

講 師：木村俊雄 早期胃癌検診協会画像研究室

参加人数：診療放射線技師29名、学生7名、合計36名

(2) 第13地区研修会

開催日時：平成22年10月22日（金）19時00分～20時30分

開催場所：国分寺労政会館

演 題：「一般撮影の取り組み方」～各論～

講 師：工藤年男 春日部市立病院放射線科技師長

参加人数：放射線技師66名（講師1名含む）学生11名

(3) 第13地区研修会

開催日時：平成22年12月2日（木）19時00分～20時30分

開催場所：国分寺労政会館

演 題：「医療安全」

講 師：竹中輝和 慈生会野村病院放射線科課長

参加人数：放射線技師8名（講師1名含む）他職種1名

(4) 第2回第12地区研修会



開催日時：平成23年1月22日（土）15時30分～16時30分

開催場所：公立昭和病院本館2階講堂1・2

演 題：いまさら聞けないバリウムの基礎（実験付き）

講 師：竹内修平 伏見製薬営業企画部学術担当

参加人数：診療放射線技師30名

（5）第4地区研修会

開催日時：平成23年2月17日（木）19時00分～20時00分

開催場所：JR東京総合病院15階会議室

演 題：「渋谷区近隣地域の救急医療の現状について」

講 師：木村一隆 日本赤十字社医療センター救命救急センター

参加人数：診療放射線技師51名、学生3名

（6）第1地区研修会

開催日時：平成23年2月22日（金）18時30分～20時00分

開催場所：（社）東京都放射線技師会研修センター

演 題：「ハイチ地震における放射線技師の活動」

講 師：小西英一郎 千葉東病院

参加人数：診療放射線技師8名

（7）第5地区研修会

開催日時：平成23年2月25日（金）19時00分～20時30分

開催場所：（社）東京都放射線技師会研修センター

演 題：「5地区のつどいISGD」

講 師：順天堂医院：高野直、東大病院：鈴木雄一、村山嘉隆、日医大病院：小川匡史

参加人数：診療放射線技師27名、学生5名、計32名

16) ボランティア活動（地球環境保全活動）

（1）第5地区日暮里駅前清掃活動

開催日時：平成22年9月20日（月）10時00分～11時00分

開催場所：日暮里駅前

参加人数：診療放射線技師7名、家族2名

（2）第5地区荒川河川敷清掃活動

開催日時：平成22年10月20日（日）10時00分～12時00分

開催場所：北区荒川河川敷岩淵関周辺

主 催：荒川クリーンエイド・北区環境課

参加人数：診療放射線技師6名、他職種1名、子供3名

（3）第5地区日暮里駅前清掃活動

開催日時：平成23年2月20日（日）10時00分～11時30分

開催場所：日暮里駅前

主 催：荒川区青少年対策日暮里委員会・荒川区環境課

参加人数：診療放射線技師9名、子供4名

（4）第5地区富津海岸親睦清掃旅行

開催日時：平成23年3月12日（土）～13日（日）

開催場所：富津海岸・富津岬荘

主 催：第5地区会員等

参加人数：中止

（5）第5地区日暮里駅前清掃活動

開催日時：平成23年3月20日（日）10時00分～11時30分

開催場所：日暮里駅前

主 催：荒川区青少年対策日暮里委員会・荒川区環境課

参加人数：中止

### 17) 調査アンケートに関する事業

調査内容：各施設における業務の実態調査

調査期間：平成22年11月16日～31日

調査対象施設数：391

有効回答数：133

回答率：34.0%

## 2. 放射線医療並びに放射線障害防止の普及啓発に関する事業

### 1) 各健康フェスティバルに参加出展

#### (1) 看護フェスタ2010

日 時：平成22年5月8日（土）9時～16時

会 場：新宿駅西口イベントコーナー

内 容： 「目で見る放射線」放射線Q & A 150部配布 放射線被ばく相談男性4名、女性15名 マンモグラフィ体験男性3名、女性83名 進路相談 ステージ20名

備 考：広報・線管理士部会・城西支部、診療放射線技師9名、来場者多数

#### (2) ピンクリボンin東京2010

日 時：平成22年10月1日（金）

内 容： しこり体験女性94名、男性4名 配布資料120部 相談4名

協 力 者：5名

#### (3) 第35回中野まつり

日 時：平成22年10月9日（土）10日（日）10時～17時

会 場：中野区勤労福祉会館東放技ブース

内 容：9日 しこり体験女性13名、男性3名 配布資料20部 相談2名

10日 しこり体験女性39名、男性5名 配布資料70部 相談3名

協 力 者：9日7名、10日6名 広報、線管理士部会、第10地区委員等

#### (4) 中央区健康福祉まつり2010

日 時：平成22年10月24日（日）

会 場：中央区保健所 東放技出展ブース

内 容： しこり体験女性78名・男性4名 配布資料120部 相談10名

協 力 者：9名、城東支部、広報、線管理士部会等

#### (5) 2010年町田市第5回総合健康づくりフェア

日 時：平成22年10月30日（土）10時～15時

会 場：町田市総合体育館

内 容： 骨密度測定135名 しこり体験45名 パンフレット配布120部

協力者：7名、多摩支部、広報、線管理士部会等

#### (6) 第21回OTAふれあいフェスタ2010

日 時：平成22年11月6日（土）7日（日）

会 場：平和島競艇場内水の広場東放技出展ブース

内 容：6日 骨密度測定342名 しこり体験男性25名、女性195名 配布資料150部

7日 骨密度測定353名 しこり体験男性40名、女性221名 配布資料200部

## 3. 放射線機器および資材の改良に関する事業

各種学会や研修会に協力し、医用放射線機器の改良に努力し、もって都民に保健衛生向上に寄与した。

#### 4. 関連団体との連携協調に関する事業

本会では関連機器団体との懇親と調和を目的として、“2010年新春のつどい”を開催した。

開催日：平成23年1月7日（金）19時00分～20時30分

会 場：ホテルラングウッド（荒川区日暮里）

参加者：

#### 5. 図書印刷物の刊行物に関する事業

放射線技術関連学術雑誌「東京放射線」（月刊）を発行し、診療放射線技師・エックス線技師へ有償にて配布、放射線技術・学術の向上並びに職業倫理の高揚を図った。また、全国の診療放射線技師養成校・放射線関連機関・団体及び国立国会図書館並びに放射線技師教育関係、各都道府県技師会に寄贈した。

誌名「東京放射線」月刊 昭和37年12月13日第三種郵便物認可

発行状況	ページ数	発行年月日
第57巻 第4号(通巻671号)	56	H22.4.1
第5号(通巻672号)	56	5.1
第6号(通巻673号)	40	6.1
第7号(通巻674号)	36	7.1
第8号(通巻675号)	48	8.1
第9号(通巻676号)	52	9.1
第10号(通巻677号)	44	10.1
第11号(通巻678号)	36	11.1
第12号(通巻679号)	40	12.1
第58巻 第1号(通巻680号)	50	H23.1.1
第2号(通巻681号)	40	2.1
第3号(通巻682号)	40	3.1

##### 主な掲載記事

- 1) 巻頭言……………12回
- 2) 東放技ニュース……………11回
- 3) NEWS拾い読み……………12回
- 4) 放射線技師のための乳腺病理の基礎……………7回
- 5) 連載 骨・関節を“診る”サブノート……………9回
- 6) 医用デジタル講座……………3回
- 7) 非造影剤MRAを極める……………5回
- 8) 学術奨励賞論文……………1回
- 9) 学術論文……………2回
- 10) 特別講演会(抄)……………1回
- 11) パイプライン……………12回
- 12) 支部・地区活動報告に関する記事……………6回
- 13) 委員会報告に関する記事……………4回
- 14) 東京都放射線技師会行事に関する記事……………3回
- 15) 学術研修会・きめこまかな生涯教育に関する記事……………8回
- 16) 行政まつりに関する記事……………3回
- 17) 定期総会議事録……………2回
- 18) 各種アンケート調査結果……………1回
- 19) 日本放射線技師会関連記事……………1回
- 20) がんの早期発見に向けた取り組み……………1回

その他、会員からの寄稿文など多数掲載

#### 主な贈呈先

東京都総務局行政指導課、東京都衛生局医務部医務課、東京都郵政局郵政部事業課第二業務課、国立国会図書館、都立医療技術短大附属図書館、東京歯科大学図書館、慶応大学医学情報センター、駒沢短期大学図書館、(株)アンダーライン、日本化学技術情報センター、社団法人日本放射線技師会、社団法人日本放射線技術学会、都道府県放射線技師会、全国診療放射線技師養成機関など

## 6. その他、法人の目的達成に必要な事業

### 1) 本会活動の目標スローガンに基づく事業

- (一) メディカルコンプライアンス ( Medical Compliance ) の推進
  - (二) 地球環境保全活動の推進
  - (三) 認定技師・専門技師の育成
- 以上、スローガン達成のため特別委員会を設け活動した。

### 2) 求人、求職の情報を提供と雇用に関する事業

- (1) 再就職先を考えている方へ本会員の勤務する実習病院にて技術トレーニングを案内
  - (2) 求人情報の広報活動
- 32施設から求人情報が寄せられた。

### 3) 国家公務員人事院並びに東京都人事委員会の勧告概要を雑誌等を通じて公表した。

### 4) ボランティア活動

小さなボランティアとして使用済み切手収集活動

使用済み切手を日本キリスト教海外医療協力隊へ送付。協力施設名：昭和大学病院、メディカルランチ社等

## 学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌にてご案内しますので必ず確認してください。

#### 平成23年度

##### 1. 学術研修会

- 第10回サマーセミナー
- 第10回ウインターセミナー
- 第14回メディカルマネジメント研修会

##### 2. きめこまかな生涯教育

- |                |          |     |
|----------------|----------|-----|
| 第43回きめこまかな生涯教育 | 平成23年6月  | 3日間 |
| 第44回きめこまかな生涯教育 | 平成23年10月 | 3日間 |
| 第45回きめこまかな生涯教育 | 平成24年2月  | 3日間 |

##### 3. 支部研修会

城東・城西・城南・城北・多摩支部研修会

##### 4. 地区研修会

##### 5. 第10回ペイシェントケア学術大会

##### 6. 第11回東放技東京部会合同学術講演会

平成23年9月8日(木)

##### 第61回定期(決算)総会

平成23年5月28日(土)

#### 関連団体

##### 第27回日本放射線技師総合学術大会

平成23年9月16日(金)~18日(日)

##### 平成23年度関東甲信越放射線技師学術大会

平成23年10月15日(土)16日(日)

印は新卒新入会員無料招待企画です

## 第9回ウインターセミナーに参加して

社会保険蒲田総合病院  
中村匡宏

今回は技師歴16年の自分、先輩技師、昨年入職した新卒の後輩技師三人で『骨一般撮影のコツ』を受講させていただきました。後輩の技師には指導してもらうすぐ一年になるので、他施設の撮影法も知って技術に生かして欲しいと思って誘い、自分は当院で生かせる技術を持ち帰り、週一回行っている画像検討会で伝えて当院のレベルアップを計りたいと考えて参加しました。

市川先生の講演では基礎的な解剖から分かり易く、体位の取り方や目標部位の描出のコツを説明していただきました。その中で、同じ部位を違う技師が撮影して、病変をしっかりと出している時と隠れてしまっている時の実体験の写真を見せてもらい、普段何気なく撮影している簡単に撮れると思っていた部位でも、定期的に技師間で撮影法の検討をしていく事が大事だと感じました。早速、今回講演していただいた技術を当院の画像検討会で伝え、皆で検討して試させてもらっています。

工藤先生の講演では体位の取り方を中心に、患者さんの負担を少なくして再現性も良くしていく方法を実際に人の動きを見せた動画で熱心に説明していただき

ました。当院の検討会に持ち帰った所、色々な意見が出ましたが、検討する事で統一して良い写真への意識が高まっている様に感じました。

二人の先生に共通していた事は、患者さんの苦痛を出来るだけなくす工夫をして安心感を与え、誰にでも同じ様に撮れる様な体位のコツを日々考えて広めて行こうとしている事だと感じました。自分も今は指導することも多いのですが、日々自分自身も色々な技術の吸収と研鑽を続けて患者さんにとって安全、安心で有益な撮影を心がけていかなければと感じました。



## 第9回ウインターセミナー 骨一般撮影のコツ アンケート

アンケート回収54枚でした

1 年齢・性別・所属地区について教えてください

・性別	男性	31	・地区	1地区	3	10地区	3
	女性	18		2地区	0	11地区	2
・年齢				3地区	1	12地区	1
	20歳代	19		4地区	2	13地区	3
	30歳代	19		5地区	0	14地区	0
	40歳代	11		6地区	1	15地区	2
	50歳代	4		7地区	2	16地区	3
	60歳代	1		8地区	10	他	1
	70歳代	0		9地区	1		

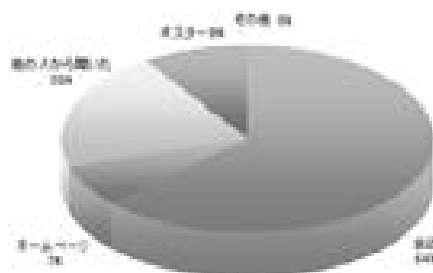
## 2 貴施設の規模を教えてください

・施設種類	大学病院	23	・病床数	病床なし	4
	公立病院	2		19床未満	0
	一般病院	18		100床未満	2
	クリニック	2		200床未満	4
	健診施設	2		300床未満	5
	その他 企業病院	1		400床未満	7
				500床未満	5
				600床未満	2
				601床以上	13

## 3 このセミナーをどこで知りましたか？

会誌	34	他の人から聞いた	11	その他
ホームページ	4	ポスター	5	

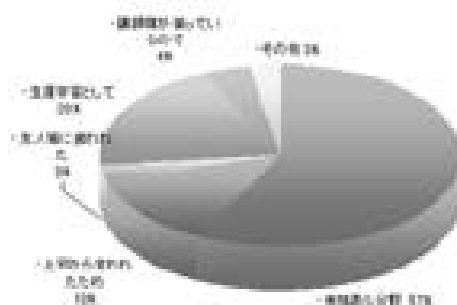
セミナー情報源



## 4 参加した動機を教えてください

- ・興味ある分野 41
  - ・上司から言われたため 9
  - ・友人等に誘われた 2
  - ・話題の分野なので 0
  - ・生涯学習として 14
  - ・講師陣が揃っているので 3
  - ・導入予定があるので 0
  - ・他メーカーの情報が取得できるため
  - ・その他
- FUJII社のFPDを導入しているため  
整形外科 US

参加理由



## 5 セミナーの内容はどうでしたか？

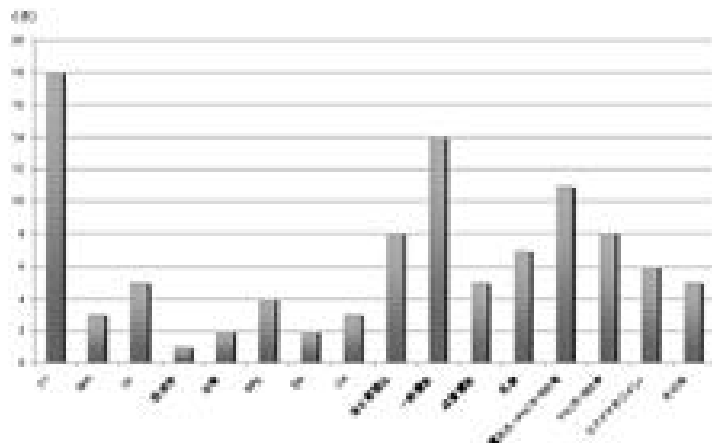
- ・面白くない 0
- ・もう少し内容が欲しい 1
- ・まあまあ充実していた 15
- ・大変良かった 28
- ・内容にご意見があればお書き下さい

- ・一般撮影や、フレッシュ用の基礎的なセミナーはなかなかなく、定期的に行なって欲しい。
- ・さっそく一般撮影の再勉強します。
- ・一般撮影の勉強会が少ないので、今回の話はとても新鮮で良かった。
- ・高齢者を撮影することが多いので、なかなかうまく撮影できません。
- ・特に、拘縮してる人は...
- ・何かコツがあれば、知りたいです。
- ・日常業務に役立てることを、たくさん教えてもらって役に立ちました。
- ・頭・頸部・脊椎は、分けて細かく聞きたかった。
- ・時間が少し足りないと思いました。
- ・大変良かったが時間が延長しすぎていた。
- ・もう少し考慮出来ればより良いと思います。
- ・工藤先生の話が、斬新でおもしろかった。
- ・どのように教育していくかは、各施設で異なると思われます。
- ・先輩の技師より、教育指導の方法を伺うことができました。
- ・一般撮影の考え方が変わりました。
- ・新しい考え方、すぐくためになりました。
- ・おもしろかった。
- ・難しかった。
- ・60分より90分の内容だったと思う。
- ・内容が多いため、もう少し時間を多くしてほしい。
- ・新人にとって、理解しやすかった。

## 6 今後、取り上げて欲しい内容を教えてください

CT	18	血管撮影	5
MRI	3	乳腺	7
US	5	電カル・PACS・RIS等	11
核医学	1	PACS・RIS等	8
治療	2	リスクマネジメント	6
FPD	4	その他 注腸	1
DR	2	機器管理	1
CR	3	歯科	
消化管関係	8	一般撮影やFPD・DR・CRなどの基礎のものも、定期的の実施してほしい。	
一般撮影	14	今日みたいな内容のものを、もっとやってほしいです。	

### 今後の要望



## 7 開催場所・開催日時・受講料について

・場所	遠すぎる	1	やや遠い	18	妥当	35
・開催日	平日夜を希望	5	日曜日開催を希望	2	現状を希望	43
・開始時間	もう少し遅く	0	妥当	45	もう少し早く	8
・開催時間	長すぎる	8	妥当	44	短すぎる	2
・受講料	高い	3	妥当	47	安い	3

## 8 その他ご意見があればお書き下さい

- ・テーブルが必要だと思います。
- ・部屋が少し狭い。できれば、メモを取るために、机があるといいと思います。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・テーブルが欲しい。
- ・会場が狭い。トイレの便座が冷たい。
- ・もう少し広い会場の方が、良いと思います。
- ・目から鱗の情報盛りだくさん。明日からの業務に大いに役立ちそうです。

### お詫び

東京放射線3月号の一部に乱丁が見つかりました。

お詫びいたします。

お手元の会誌に乱丁がある場合は当会事務局までご連絡ください。あらためて送付いたします。

東京放射線編集部

## 第4 地区研修会に参加して 『渋谷区近隣地域の救急医療の現状について』

東京都済生会中央病院  
放射線技術科 三上 徹

「渋谷区近隣地域の救急医療の現状について」というテーマのもとに第4地区研修会に参加させていただきました。

昨今の救急患者が増加している推移や救急医療の現状をグラフや数値を用いてとてもわかりやすく説明していただき、臨床画像を通して、どういった患者が三次救急医療機関に搬送されるのかを教えてくださいました。

当院では二次救急医療機関であることから三次救急医療機関のような重症患者が受診することは少なく、今回の研修会では多発外傷などの臨床画像をたくさん経験することができたのと同時に先生の解説と共に読影できたことは貴重な時間になりました。

救急医療の現状としては受入先医療機関の選定に時間がかかることがあげられ、東京都では病院収容時間が約40分と他の都道府県と比較しても遅いことや、一度で搬送先が決まらないケースが多いことを問題視されていました。メディアなどでもよく放送されている、救急専門医の不足など根本的な問題（木村先生が勤務されている施設でも一人で救命センターをまわせる医師は4人、医師一人あたり月7回の当直という現状、もちろん翌日も病棟など問診があり、夕方までの勤務）

や、軽傷の患者が救急外来を安易に利用するいわゆるコンビニ受診や専門医による専門的な治療を常に求める患者が増加していることが原因なのでしょう。そういった救急医療体制の改善をはかるため、『救急医療の東京ルール』などで間違いなく良い方向性についている反面、現状としてまだまだ体制の改善には時間がかかりそうであることもおっしゃられていました。

恥ずかしながら、私は『救急医療の東京ルール』を知りませんでした。これをきっかけに消防庁のHPから調べることにしてみました。その資料中での消防に関する世論調査（平成15年11月東京消防庁）によると、救急車を呼んだ理由の中には、「病院がわからなかった」（約5%）「救急車でいったほうが優先的に診てくれると思った」（約5%）「交通手段がなかった」（約5%）「救急車は無料だから」（約2%）という理由で要請したものもあり、救急業務の緊急性・公共性が十分認識されているとはいえない状況もあるようでした。少し古い資料ではありますが、救急患者が増加傾向にある現状では無視できないと思います。

われわれ診療放射線技師でも救急撮影技師認定機構など活用し、より救急医療に貢献していくとともに、一人ひとりが救急医療の体制改善を推進していくべきだと痛感しました。





## 平成22年度第2回12地区研修会に参加して

～ いまさら聞けないバリウムの基礎 ～

## 『バリウムX線造影剤の特性』

公立昭和病院 古澤正樹

平成23年1月22日（土）公立昭和病院講堂にて、12地区研修会が行われました。伏見製薬の方による『バリウムX線造影剤の特性』についてです。普段検査でバリウムを使いますが、その製品の特徴、注意事項などおおまかにしか知りませんでした。

バリウムの粘性は食品と同じ粘性ぐらいで、一気に飲まないで一口ずつ（高齢の方、誤嚥に注意）使用温度は年間を通じて一定など、改めて聞かせて頂き、大変参考になりました。

また、研修会の後半で原材料にいろいろな添加物を徐々に加えて、その事によってどのようにバリウムが変化していくか実験をしました。添加物によってバリウムの粘度を自在に変えられました。胃集検業務もしていますが、改めてバリウムについて考える良い機会になりました。より良い検査をするには、造影剤の特性を知る事も重要になります。安全で質の高い検査を目指していきたいと思います。

研修会を企画して頂いた12地区役員の方々、伏見製薬の方、ありがとうございました。

公立昭和病院 門野太一

平成23年1月22日に公立昭和病院で開催された、第12地区研修会（題名：いまさら聞けないバリウムの基礎）に参加させていただきました。

昨年の秋より、長い間やってみたいと思っていた胃集検を担当させていただいており、最も興味のある題材の一つであるバリウムの勉強会が行われるこの日を楽しみにしておりました。内容は、バリウム調整時の精度管理、バリウムの保管、バリウムの副作用についての予防と対応策、発砲剤の直接飲用法と最後に実験がありました。講師の方がすばらしいスライドを作成して

くださっており、説明も分かり易かったのでバリウムについて理解することができ、日頃業務で行っている事の再確認になりました。

印象に残ったのはバリウムの原石を見たことと、実験で添加物によってバリウムの粘度が変わっていく様子と、人口胃液の中でのバリウムの変化を割り箸でバリウムを混ぜることにより体感出来たことです。この勉強会で学んだ事をまた業務でも生かせることができればと思っております。

最後になりましたが、講師の竹内様（伏見製薬株式会社）企画していただいた技師会の役員の皆様に感謝申し上げます。

12地区 K病院 H

前回は、6月に行われた第一弾NPO日本消化器がん検診精度管理機構で提唱されている基準撮影法に参加させていただきました。今回も自施設と他施設との違いなど多くの情報が得られるかと迷いながらも参加させていただきました。今回は伏見製薬の専門家が講師として、スライドでの統計割合、造影剤量、濃度推移などかなりの情報を提供してくれました。説明の中には、バリウムの安全性、発砲剤の安全性、副作用など驚かされた内容もありました。中でも印象に残ったのは、スライド後の実験でした。

実際に、参加者全員がグループに分かれ、各テーブルで粗粒子、微粒子のバリウムの粘度確認、また人工胃液と混合した後のバリウムの粘度変化確認を自分の手（割り箸）を使い、混ぜながら粘度確認ができ、面白い体験をすることが出来ました。

今回迷いながらの参加でしたが、期待以上の情報を得られ今後の仕事にも活かせると思います。ありがとうございました。



## 陽子線がん治療 ぶれずに腫瘍に照射

### 動く臓器も正確に

日立製作所は21日、北海道大学の白土博樹教授らと新型の陽子線がん治療装置を共同開発すると発表した。体内で動きやすい肺や肝臓などの臓器でも、ぶれずにピンポイントで治療できるようにする。治療に伴う痛みが少なく、早期に社会復帰できる治療法として普及を図る。来年度中に治療施設を北大病院内で着工し、2014年3月に完成して治療研究を始める計画だ。

陽子線がん治療装置は水素の原子核である陽子を加速し、がんの腫瘍に集中して当てることでがん細胞を破壊する。放射線治療の一種だが、腫瘍の形に添って陽子線を照射でき、6センチ以上の大きい腫瘍でも治療できる可能性があるという。

新型装置は照射前に腫瘍の近くに微小な金の目印（マーカー）を入れ、臓器の動きを観察する。コンピューター断層撮影装置（CT）で腫瘍と金マーカーの位置関係を把握。金マーカーの動きを30分の1秒ごとに計算し、金マーカーが誤差約2ミリメートルの位置に来ると、0.05秒後に陽子線を照射する。

照射体積を半分～4分の1に減らすことができ、正常な組織に当たる線量を大幅に減らせるとしている。従来装置では、呼吸で動いてしまう肺や肝臓などの臓器に正確に陽子線を当てるのは難しかった。

装置の大きさは縦23メートル、横27メートル。従来の装置より設置面積を約6割に小型化する。大型設備を置けない病院でも設置できるようにする。肺や肝臓、前立腺、頭部のがんや、小児がんなどの治癒率や安全性を向上できるとみている。

世界トップ級の30人の研究者を支援する政府の「最先端研究開発支援プログラム」の支援を受けた。装置の費用は21億円。（9.22日経産業）

日立メディコ、組織の硬さ3D表示 / デジタル超音波診断装置画像処理能力を向上 日立メディコは7日、デジタル超音波診断装置の最上位機種を発売した。超音波の送受信回路を一新して画像処理能力を向上、組織の硬さを瞬時に3次元（3D）表示する機能などを搭載した。発売した「ハイビジョンアセンダス」（写真）は、組織の硬さを3Dで表示する「リアルタイム3Dエラスト機能」を備えている。肝臓の撮影時に造影剤の流入時間差を色づけして表示するなど新たな機能も追加。従来から採用の多かった乳腺領域に加え、甲状腺や肝臓などにも対象を広げられるとみている。デジタル信号処理回路を高速化し、超音波のセンサーである探触子を高感度・広帯域とすることで、対象物の浅い部分から深い部分まで均一な画像を得られるという。（28日経産業）



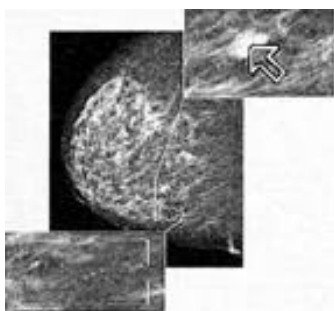
陽子線治療 がんに直接照射 / 日立、周辺部への影響軽減 日立製作所はがんに陽子線を直接照射できる陽子線治療システムを発売した。従来のシステムは患者と陽子線照射装置の間に陽子線の強さを制御するブロックを置く必要があったが、新システムは陽子線の強度を装置内で制御でき、従来よりも高精度に陽子線を照射できるという。「PROBEAT-」は独自開発した「スポットスキャン照射技術」を採用。細い陽子線をがん組織の立体的な形にあわせて強度を調節しながら照射

する。従来方式に比べて、がん周囲にある正常細胞への影響を軽減できるという。従来の「二重散乱体方式」は装置から出た陽子線を、患者のがん組織の形に成型したブロックを通すことで強度を制御していた。新製品はブロックの作製が必要なく、精度も上がる。米国では2007年に販売認可を取得済みで、08年には同国のがん専門病院に納入した。国内では08年に名古屋市から陽子線治療施設の整備事業を受注。建設を進めており、12年に稼働する見通しだ。(2.10日経産業)

富士フイルム / 病変部見つけやすく 電子内視鏡の画像処理 富士フイルムは内視鏡システム「アドバンシア」シリーズの最上位機種のプロセッサ「VP-4450HD」(写真)を発売した。光の波長を限定して病変部を見つけやすくする分光画像と通常の画像を同時に画面に表示できる。両画像を見比べながら検査ができるため、病変部の早期発見が期待できるという。年間500台以上の販売を見込む。新製品は組織の構造や微妙な色合いの変化などを強調する画像処理機能を強化。食道や胃などを観察する際に全体の彩度を落とさずに画像を強調できる。これまで見えにくかった胃粘膜上の集合細静脈などを内視鏡を近づけずに高精細に描写することもできるという。観察対象の明るさに応じてシャッター速度を「200分の1」「100分の1」「60分の1」に自動設定。明るくブレの少ない画像を撮影できる。(後略)(2.8日経産業)



乳がん検査 X線画像、診断しやすく / 富士フイルムがシステム 富士フイルムは3月1日、高精細の乳がん検査用デジタルX線撮影装置に対応した乳がん検出支援システムを発売する。マンモグラフィ画像をコンピューターで解析したうえで乳がんの特徴を示す領域を表示し、医師の診断を支援する。「デジタルマンモグラフィCADM V-SR657EG」はデジタルX線装置で撮影した画像を細かく区分して、乳がんの特徴に共通したパターンを検出する。乳がんの特徴を示す部位を自動的に検出し、腫瘤を矢印、微少石灰化の部位を四角で囲い表示する。従来より検出精度を高め、早期発見の確率を高められると期待する。乳がんの特徴を検出するアルゴリズムを最適化し、誤検出率を下げた。画素の一辺が50マイクロ(マイクロは100万分の1)メートルの高精細デジタルX線装置「AMULET」にも対応。乳がん検診受診者の増加が見込まれるなか、診断支援システムの需要も拡大する見通しだ。(2.25日経産業)



腫瘤を矢印(右上)で、微少石灰化部位を四角で(左下)表示

がん放射線治療で実証 / 照射、3次元で把握 放射線医学総合研究所は、がんの放射線治療で患部への照射を3次元で評価できる技術を実証した。千葉大学と共同開発した次世代陽電子放射断層撮影装置(PET)の小型試作機で実現した。小型試作機は通常のPETでドーナツ状の検出部を2つに増やしたのが特徴だ。2台の検出部の間から治療に使う重粒子線を照射すると、体内の炭素原子と酸素原子から陽電子が放出される。この陽電子を検出することで、体のどの部分に放射線がどのように照射されたかを把握できる仕組み。従来は2次元画像でしか分からなかったという。試作機で模擬実験したところ、実際に使えることが分かった。人間に使う大きさの装置を作っても想定通りの検出感度を出せるという。実際につくるには10億円以上の研究費が必要になり、3年後をめどにつくりたい考えだ。(日経産業)



がん重粒子治療今春にも開始 / 放医研、千葉に施設 放射線医学総合研究所はがんを切らずに放射線でたく治療を今春にも始める。放射線の一種である重粒子を使った治療施設をこのほど千葉市に建設した。呼吸などで動く体に合わせてがんだけを狙い撃ちする治療ができるようになる。新施設は、新たな重粒子線がん治療の装置を2台設置「呼吸同期3次元スポットスキャニング」と呼ばれ、鉛筆の太さの重粒子線を使いがんの病巣を塗りつぶすようにして照射する。実用化は世界初めてという。新装置を使うと、複雑な形状のがんの病巣でもまんべんなく照射してがんを治せるようになる。また、呼吸などでがんの病巣が動いても追従して狙い撃ちできる。肺がんなどの患者で有用という。(1.18日経産業)

平成23年

「看護の日」記念事業

# 5月15日(日)看護フェスタ

## 新宿西口に大集合！



日時：平成23年5月15日(日)12時～16時(受付は15時30分まで)

会場：新宿駅西口 地下1階イベントコーナー

◎お気軽にお立ち寄りください (無料・予約不要) 看護の日記念グッズ配布！

### 健康チェック

骨密度、血糖、血圧、握力  
アルコールパッチテスト  
体脂肪、視力

### 相談

健康、介護、栄養、お薬、禁煙  
口腔ケア、被ばく、進学  
作業療法、理学療法  
医療福祉

### 擬似体験

高齢者、妊婦、肥満

### 健康クイズ(景品あり)

### 健口体操

AED(除細動器)など



主催：社団法人 東京都看護協会  
共催：東京都 (社)東京都医師会 (社)東京都歯科医師会  
(社)新宿区医師会 (社)東京都新宿区歯科医師会  
参加団体：(社)東京都臨床検査技師会 (社)東京都放射線技師会  
(社)東京都病院薬剤師会 (社)東京都歯科衛生士会  
東京都臨床工学技士会 (社)東京都栄養士会  
東京都作業療法士会 (社)日本視聴訓練士協会  
(社)東京都医療社会事業協会 (社)東京都理学療法士会

お問合せ先：(社)東京都看護協会 TEL03-5229-1520(代表)



# News

## 4月号

### 議 事

#### 1) 平成22年度事業報告総括案

- ・東京都庁新公益法人課 東京都庁生活文化局 都民生活部 管理法人課 公益法人係と訂正する。

【全会一致で承認】

#### 2) 学術奨励賞の件

- ・2月24日の奨励賞は理事会承認にて決定するため、現在の最終候補に挙がっている3演題について検討し、ご意見頂きたい。

#### 3) 経理監査体制の件

- ・現状の北村税理士への委託体制を3月末で解消し、公益社団法人移行に向けて四谷監査法人と契約する【全会一致で承認】

#### 4) 日放技総会代議員選出方法について

- ・日放技が公益社団法人となった場合、現案の代議員選出方法で行われる【全会一致で承認】

#### 5) 新入会員の件

- ・【全会一致で承認】

#### 6) その他(1月9日に行われた日放技会長会議の報告)

- ・会費納入方法についてカード払いは現状では難しいという回答で棄却されました。  
日放技と東放技の支払いが一括であれば手数料は日放技が負担する。また東京都のみの場合でも手数料を支払って頂ければ日放技より行うことが可能。

### 報告・連絡事項

#### 1) 専門部報告

##### 総務

- ・平成22年度地区活動及び内容報告を2月25日までにお願ひします。

##### 渉外

- ・小野賞の歴史について資料を作成しましたので推薦書と一緒に配付いたします。締め切りは2月末となりますのでご協力お願い致します。

##### 編集

- ・今後は、地区の懇親会について地区情報交換会として名称変更します。

##### 教育

- ・日暮里ワンコインセミナーの日時、担当分担表を作成致しました。今後の計画についてご意見ありましたらいただきたいと思います。

##### 学術

日 時：平成23年2月3日(木)

午後6時45分～午後8時10分

場 所：東京都放射線技師会事務所

- ・1月29日に行われたウィンターセミナー参加者は79名でした。
- ・2月15日から第42回きめこまかな生涯教育があります。
- ・3月5日に開催される第9回ペイシエントケア学術大会の資料配付をお願いします。

##### 福利調査

- ・今年度のアンケート調査を3月号会誌に掲載します。

##### 庶務

- ・3月の理事会で役員退任届けを提出していただきますので、印鑑(シャチハタ不可)をご持参してください。総会での役員選挙後、就任承諾書を提出していただきます。

#### 2) 委員会報告

##### 将来検討委員会

- ・2月1日に慶応病院にて委員会を委員5名にて行いました。年間スケジュールの確認と東放技の新体制および答申の普及について検討しました。また地区活動のよりよいあり方について検討しました。

#### 3) 地区質問、意見に関する事項

##### 第14地区

- ・日放技、東放技の会費納入について、理事会でも話になったが、カード払いも是非導入をお願いしたい。  
議事の報告にありますが、現段階では棄却されております。今後、折りを見て再度意見したい。

##### 第6地区

- ・平成23年度から、理事会の開催が2ヶ月に1回に減るとのことですが、新入会員などの承認が滞るのではないでしょうか。  
平成23年度理事会開催計画の資料より、公益法人化承認後は、現理事会開催月を理事会と拡大理事会にて対応していきますので話し合いの場が減少することはありません。参加のない月に関してはメール等にて意見や質問を頂きたい。

#### 4) 今後の予定(総務理事)

2月7日(月)：総会実行委員会

2月8日(火)：多摩支部研修会

2月15日(火)～17日(木)：第42回きめこまかな生涯教育

2月17日(木)：第4地区研修会

2月18日(金)：第9回五役会

2月20日(日)：日暮里駅前清掃ボランティア活動(第5地区)

2月22日(火)：第1地区研修会

2月24日(木)：第11回専門部理事会

2月25日(金)：第5地区のつどい(SDG)

3月1日(火)：資格審査委員会

3月3日(木)：第11回理事会

3月5日(土)：第9回ペイシエントケア学術大会・第60定期総会

## 平成23年2月期 会員動向

総会員数		正会員							賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	繰出・入	会員数	新入	転入	転出	退会	繰出・入	
21年度集計	2,008	1,797	93	17	8	264	-4・+5	211			4	15	+4・-5	
H22.4	2,027	1,817	22	7	4	4	-1	210			2		1	
H22.5	2,035	1,825	10		1	1		210						
H22.6	2,052	1,844	22		2	3	2	208					-2	
H22.7	2,063	1,854	10	1			-1	209					1	
H22.8	2,063	1,855	3	1	2	1		208				1		
H22.9	2,066	1,858	2	2	1			208						
H22.10	2,072	1,864	5	2		1		208						
H22.11	2,073	1,866	3			2	1	207					-1	
H22.12	2,072	1,864	4			3	-3	208				2	3	
H23.1	2,070	1,862	1	1	2	2	-1 1	208				1	1 -1	
H23.2	2,072	1,861	1	1			-3	211					3	

2月期新入会	(1名)	日和佐 剛	シーメンス・ジャパン (株)	8地区	
転入	(1名)	村山 嘉隆	東京大学医学部附属病院	5地区	
繰入出	(3名)	飯塚 卓宏	昭和大学藤が丘病院	15地区	正→賛
		黒澤 駿	昭和大学藤が丘病院	15地区	正→賛
		山本 恵	昭和大学藤が丘病院	14地区	正→賛

## イエローケーキ

### ひとこと

2009年の3月、早朝から風が強く体感温度は真冬並み、私は東京のどんよりした曇り空の下をズルズルと足を引きずりながらビックサイトを目指し走っていた。沿道は鈴なりの人、人、人！そのサポーターや声援に応援に励まされ...ゴールイン！家族にも参加を知らせてなかったのが、少しさびしい完走であった。

走るきっかけは、娘のミニバスケットの試合の休憩中、私が娘へ「がんばれ・がんばれ」と声を掛けたことに対し、反発して「じゃ～やってみればいいじゃん」と言い返されたひとことだった。次の瞬間、私は電気ショックにかかったような気分襲われた。本人は頑張っているのに結果が出ない。応援しているつもりが逆に大きな負担を与えている。そう、自分の気持ちを一方的に押しつけていたのだ。無性になにかやらなければいけないという気持ちに掻き立てられた。娘に言われたひとことが忘れられなかった。

たまたまテレビをつけていた時、“東京マラソン”という文字が目飛び込んできた。私の目標は決まった。もともと健康維持のため週に2・3回ジョギング程度は走っていたので、いつかはフルマラソンと考えていたが、まさかそのひとことでフルマラソンを走るようになるとは夢にも思わなかった。人間、何がきっかけで人生が変わるか分からない。何気なく言ったことばが人をどれほど傷つけていたか、後になって気がつくことがある。おはよう、こんにちば、ありがとう。基本の言葉を的確に使うだけでも、思わぬよい影響を相手に与えることだってあるのだ。なんだ、こんなことならよく知っているよ、と言われるかもしれない。しかし、もう一度基本に戻って、「言葉ってなに？自分は日々、どんな言葉をどうやって使っているだろう」と考えるのは悪いことではない。

最近覚えた言葉に「きつとうまくいくよ」がある。この言葉は、前向き思考へのスイッチが入るよいきっかけになる。この場合、根拠や理由などいらない。笑顔で言ってもらえるという、その事実だけが大切なのだ。それだけで心強く、気持ちを前向きに変えていくことができる。

ともあれ、「大丈夫、うまくいくよ」とこれからは応援していくことにした。ちょっと照れるが。私は、「おそれいりますが」、「ごきげんよう」も好きだ。

それではみなさん、ごきげんよう！

<柳原 淑幸>

# Postscript

3 月11日この日を境にしてあらゆる状況が変貌した。東北地方太平洋沖地震でもたらされた津波の甚大さは、見てはいけないものを見てしまったような気分になった。

この状況の下、外国メディアでは「避難民は暗闇の中で秩序正しく並び救済物資を受け取る」と報道されたり、長蛇の列を作って交通機関や公衆電話を我慢強く待つ光景などを挙げたりして、日本人が見せる秩序と冷静さを高く評価している。この報道をみて涙腺が緩んだのは私一人ではないと思う。そして、原発事故現場の最前線で踏ん張っている技術作業員に敬意を表したい。“がんばれ日本”

このあわただしい年度末を乗り越えた、ニューフェースを迎える4月に感動を！！ <kegani>

2 011年3月11日（金）14時46分三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生。

地震の規模はマグニチュード9.0、国内観測史上最大であり世界においても4番目の規模を持つ大地震と発表されました。

この場をお借りして、亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、被災された方々に心より見舞い申し上げます。

震災後、各種要請に対応できるよう本会の前会長でもあった日本放射線技師会 中澤靖夫会長を中心として、行

政や各都道府県技師会との連絡がすぐに始まり、全国規模でのGM計数管の貸し出しや、被災地へ派遣可能な診療放射線技師を確認しリストの作成がおこなわれました。3月14日に内閣府原子力安全委員会および福島県から避難民を対象としたサーベイへの協力要請があり、3月16日早朝に東京都放射線技師会会員を含む派遣隊12名が、想像を絶する厳しい環境である被災地へ出発されました。

地震発生から4日目にこの記事執筆していますが、東京においても震源の違う地震が頻繁に起こり、それらの余震も多く続いているなか、輪番制の計画停電や交通手段の減少、物資も不足がちとなってきている...しかし震源地近い東北地方の被災された方達は、比べものにならない状況で寒い夜をつらい気持ちで日々過ごしている事と思います。

会員の皆さまの中にも故郷が被災地となってしまった方や、親族友人が被災された方がいらっしゃるかもしれませんが、周囲の方々や技師会の仲間達と手を取り合いながら、この状況乗り越えてほしいと心より願っております。

この4月より編集部の仲間入りをさせて頂き、初めて執筆する編集後記がこの様なつらい話となってしまいましたが、日本中の人たちが再び笑顔で語り合える日が必ず来ると信じ、復興に向け自分の出来る事をおこなっていきたいと思います。<GON>

## ■ 広告掲載社

東芝メディカルシステムズ(株)

富士フイルムメディカル(株)

コニカミノルタヘルスケア(株)

(株)島津製作所

医療科学社

シーメンス・ジャパン(株)

(株)日立メディコ

伏見製薬(株)

GEヘルスケア・ジャパン(株)

第一三共(株)

(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン

(株)カイゲン

## 東京放射線 第58巻 第4号

平成23年 3月25日 印刷(毎月1回1日発行)

平成23年 4月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 社団法人 東京都放射線技師会

発行人 社団法人 東京都放射線技師会

会 長 篠 原 健 一

編集代表 浅 沼 雅 康

振替口座 00190-0-112644

電 話 東京(03)3806-7724 <http://www.tart.or.jp/>

事務所 執務時間 月～水 9:30～17:00 木・金 13:30～17:00

案 内 ただし土曜・日曜・休日・祭日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電 話・FAX 東京(03)3806-7724

## 編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

中谷 麗

浅野 幸

柴山豊喜

平田充弘



東放技未加入の方にお伝えください

# 入会のごあんない

ご不明な点は当会事務所TEL・FAX (03) 3806-7724までお問い合わせください。  
ホームページからも入会手続きはできます。

## 技師会とは

### (社)東京都放射線技師会

(社)東京都放射線技師会(以下、東放技という)は、東京都に在勤、または在住されている診療放射線技師及び診療X線技師をもって構成される知的職能団体です。本会は昭和22年に(社)日本放射線技師会(以下、日放技という)が結成されたのを機に、地域放射線技師会として昭和25年に創設され、昭和55年10月に東京都より社団法人として認可されております。主な事業としては、各種学術講演会・研修会など会員の技術向上に関する事業、相互扶助に関する事業、機関紙『東京放射線』の発行、学術図書の出版など、多くの事業を精力的に行っております。東京都放射線技師会は都内を城東、城西、城南、城北、多摩支部の5つに分け、さらに1から13地区および3分科会に区分し、それぞれの支部・地区での活動も活発に行われています。

現在の会員数は約2,400名(2007年度)を数え、日放技会員総数の1割弱を占める程の多数を擁し、年々増加しております。

#### <城東支部>

第1地区：千代田区  
第2地区：中央区、台東区  
第7地区：墨田区、江戸川区、江東区  
第14地区：千葉地域

#### <城西支部>

第3地区：新宿区  
第9地区：板橋区、豊島区  
第10地区：練馬区、中野区、杉並区

#### <城南支部>

第4地区：港区、渋谷区  
第8地区：品川区、大田区  
第11地区：世田谷区、目黒区  
第15地区：神奈川地域

#### <城北支部>

第5地区：文京区、北区  
第6地区：足立区、葛飾区、荒川区  
第16地区：埼玉地域

#### <多摩支部>

第12地区：西東京市、清瀬市、東久留米市、小平市、東村山市、東大和市、武蔵村山市  
第13地区：上記、第12地区以外の多摩地域

### (社)東京都放射線技師会と(社)日本放射線技師会

現在、東放技のような地域技師会は都道府県ごとに存在し、代表である日放技と密接な関係を保ちながら、各々が多岐にわたる運動を展開しています。

東放技と日放技では、目的とするもの・本質的な部位で差異はありません。しかし日放技が厚生労働省・文部科学省をはじめとした国政レベルでの活動や、全国規模の関係諸団体との折衝によって技師会の目的を達成しようとするのに比べ、東放技は、日放技への協力はもちろんですが、中央機関である日放技では直接手の届きにくい、会員の皆様に密接した実務的な事業を多く展開しています。これは中央と地域の業務分担の必要性から、必然的に成り立ったものだといえます。公益法人法改正の関係で、別団体的要素が強くなりましたが、本会としましては両会へ入会していただくことをお勧めいたしております。



## 入会のすすめ

いまや放射線医療は急速に進歩し、社会のニーズも多岐にわたっております。そのニーズに応えるべく高度な知識・診療放射線技師として人格形成のため、技師会の組織を大いに活用して、有能なあなたの知識・アイデアを生かして、大きく飛躍しましょう。さらに自分達の職業の社会的地位向上のため、都民への啓発促進のため、一緒に努力してまいりましょう。

(社)東京都放射線技師会は、あなたのご入会をお待ちしております。

### [ 入会資格 ]

(社)東京都放射線技師会に入会を希望される方は、診療放射線技師または診療エックス線技師免許を有する方で、東京都内に在住、または、東京都内に在勤している方に限ります。

### [ 入会手続き ]

入会希望者は、入会申込書に所定の事項を記入のうえ、下記会費を(社)東京都放射線技師会にお振込みください。

### [ 会 費 ]

<(社)東京都放射線技師会>

・新入会（新卒、既卒を問わず）	5,000円
再入会（一度入会后、理由を問わず退会した者が再度入会する場合）	14,000円
・第2年度以降、および他道府県より転入初年度	11,000円

会費の納入は下記口座へ振り込むか事務所へご持参ください

・郵便振替口座	00190-0-112644	社団法人	東京都放射線技師会
・みずほ銀行	八重洲口支店	普通	822275 社団法人 東京都放射線技師会

<(社)日本放射線技師会>

\* 日放技会費に関しては、別途、日放技より会費請求があります。

### [ 会員の特典 ]

本会の行う学術講演会、研修会、交流会等の各種行事への参加

月刊誌『東京放射線』の配布

新卒新入会員は、学術研修会等への参加費無料

\* 新卒新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し、本会へ入会した会員をいう

正会員は本会運営に参画できる

### [ 会員の義務 ]

年度会費を毎年原則として年度当初に納入していただきます。

毎年9月末日までにその年度の会費を納入されず、万一、2年以上滞納した場合には会員としての資格を失い、退会処分となります。

本会定款および諸規定を遵守していただきます。

ご入会后は、積極的な参加をお願いいたします。

会誌入会申込書をコピーして使用していただくか、当会事務所に入会申込書をご請求ください。

# 入会申込書

様式1

社団法人 東京都放射線技師会 殿

社団法人 日本放射線技師会 殿

氏 名			
氏 名 (カタカナ)			
氏 名 (英語)			
性 別		男 性 ・ 女 性	
生年月日		年 月 日 生	
勤務先	勤務先名		
	勤務先所在地	〒 -	
	電 話		
自 宅	現住所	〒 -	
	電 話		
本会よりの通称先		勤務先 ・ 自 宅	
技師籍	資格取得	診療エックス線技師 ・ 診療放射線技師	
		第 回 国家試験合格	
		年 月	
	技師籍登録	厚生労働省 第 号	
		年 月	
学 歴	年 月	卒業・修了	
	年 月		
	年 月		
技師職歴	年 月		
	年 月		
	年 月		
関連免許	免許名	登録番号	登録年月日
			年 月
			年 月
			年 月
備 考			

受 付 年 月 日

理事会承認 年 月 日 印

入会通知 年 月 日 印